

千代田短歌会

初鳴きか鶯の声今朝聞きぬ春柔らかなこぼれ陽の中
名を持たぬ群衆うごめくその中に孤独かみしめ立ちつくす我
娘たち嫁ぎし後もお雛様飾り巻き鮎つくりて祝う
雪に凍りたれども今は陽を受けて南天の赤き実たわわわたわに

橋本とし(栗田)
高橋悦子(下佐谷)
大西周(稲吉東)
岡田恭子(牛渡)

投稿作品

フェルメールの青が大好き白雲を優雅に泳がす青空が好き
紅梅や風往き交うに誘われて農道を染む紅あられなり

菅谷啄子(柏崎)
渡辺静江(稲吉東)

▼俳句・短歌の投稿は、秘書広聴課までお願いします

出島短歌会

雪風巻積り積りし東北は「仕方ねえべ」と根性で生く
百千の燭のごとくに辛夷咲く一日毎に庭の明るさ

名倉観子(下大堤)
飯島ヒロエ(三ツ木)

文化協会加盟団体紹介

エコーくりの実

私たちは女性みのコーラスグループです。毎年亀城プラザで開催の「合唱の集い」には毎年参加しています。今年も7月7日④に開催されますので、興味のある方はぜひお越しください。

他にはボランティア活動として、年4.5回老人ホームへ行って楽しんでいます。

人前でうたうなんて恥ずかしいと思うかもしれませんが。最初は誰もがそうでしたが、腹式呼吸と思い切った声出しで、日ごろのストレス解消にもなりますので、楽譜が読めなくても平気です。会員一同和気あいあいでお待ちしていますので、見学や体験に来てください。

練習日◎月3回木曜日 10:00～12:00 働く女性の家

代表▶星 洋子 ☎0299-59-5927

市民学芸員

雑記帳

◎広報誌持参の方は、郷土資料館入館無料◎

生涯学習と市民学芸員

郷土資料館では、老若男女問わず多くの方々と交流があり、その交流は相互の人間を成長させていることに気づきます。

教有課程を修了し社会に出た者は、少なからずその時期を一つの区切りと捉え、いわゆる「大人」への入口を実感するでしょう。しかし、社会では、



↑新選組の衣装で市域の水戸街道を案内する市民学芸員

向上心をもって更なる成長を望むことが大切なことです。大人への成長は、自らの可能性を求めながら人間性を高めることで、それには人との交流やさまざまな

知識・教養を学べる生涯学習が絶好の機会です。

郷土資料館では、こうした状況を踏まえ市民学芸員制度を立ち上げました。市民学芸員は、さまざまな市の魅力を学び、その情報を自主的に発信する活動団体ですが、皆さんそれぞれ人との交流や生涯学習から人生を豊かにしており、生き生き輝いています。今日もどこかで市の魅力を調査し発信し続けている「市民学芸員」がいます。興味がある方は、ぜひ郷土資料館へお問い合わせください。

千葉隆司(郷土資料館)

業務精励に黄綬褒章

平成24年春の褒章
黄綬褒章を受章

平成24年春の褒章が発表され、養護老人ホーム滴翠苑に勤務している萩原京子さん(中志筑)が黄綬褒章を受章されました。萩原さんは、昭和51年から現在までの36年間、介護支援員として第一線で業務に精励し、尽力された功績が認められ受章されました。



↑賞状を手にする萩原さん

霞ヶ浦帆引き船まつり実行委員会の功績

観光物産協会
観光事業功労者表彰

霞ヶ浦帆引き船まつり実行委員会(戸田廣委員長)が茨城県の観光物産協会観光事業功労者表彰を受賞しました。同実行委員会は、平成13年5月に組織され、帆引き船を活用した地域おこしの実施やフォトコンテストの展示会、帆引き船模型づくりなどで霞ヶ浦観光のイメージアップに努めています。



↑霞ヶ浦帆引き船まつり実行委員会の戸田廣委員長

区長会総会開催

まちづくりの最前線基地

5月25日、千代田庁舎防災センターで区長会総会が開催され、本年度の事業計画や予算、役員選任などの議題が審議され、承認がなされました。行政区長は、行政に関するさまざまな連絡・周知のほか、地域のまとめ役として課題の解決や行政に対する要望、提案を行うなど市民と行政をつなぐパイプ役として活躍しています。



↑各議題を審議する行政区長

《平成24年度区長会役員》(敬称略)

会長	井坂 勝美	逆西 一区
副会長	小松崎 正衛	横須賀
	大久保 恭	馬場山
	田口 剛	上土田
理事	来栖 孝一	大前
	小松崎 直美	中台
	鈴木 薫	三ツ木
	塚本 栄一	外葉
	香取 千秋	坂有河
	磯山 悦哉	田子内
	鈴木 幸壽	平
	額田 源衛	西成井下宿
	安田 秀徳	下佐谷
	豊崎 信平	上稲吉
	山内 庄兵衛	上佐谷
	木村 節哉	逆西9区
	君崎 實	下原
	大山 健	大峰
	石崎 一夫	上志筑
	新治 重夫	東野寺
監事	飯田 敬市	戸崎
	櫻井 政男	中志筑
幹事	石川 與左衛門	房中
	鈴木 信男	市川